

平成30年度

近畿国立大学附属学校連盟・近畿国立大学附属学校園 PTA 連合会

実践活動協議会

京都教育大学附属京都小中学校
育友会会長 姫野泰子

平成30年5月27日(日)、近附連・近附P連の実践活動協議会が開催されました。毎年、近畿地区の37の附属学校園から教員(校長先生と副校長先生を含む)と保護者(PTA役員と会員)が集まり、研修と情報交換を行っています。今年度は、附属京都地区学校園が当番校となり、附属京都小中学校(京都市北区紫野)にて開催、各校から約250名をお迎えしました。



受付風景

資料一式を「附」マークの風呂敷に包みお渡ししました。

全体テーマは、「しなやかな心を育むマインドフルネス」としました。「マインドフルネス」は、ビジネス、医療の分野でも注目されている言葉で、「いま起きていることを、判断や評価をせず、あるがままに知覚する」といった意味です。家族の形が多様化し、これからの PTA 活動をデザインするため、まずは保護者一人ひとりが、自分の生活、家族との関わり等を見つめ直し、心身ともに「軽くなる」、「柔軟になる」、そして「元気になっていく」ことが大切なのではと考えました。

〔基調講演〕

午前中の基調講演では、今この瞬間の現実をあるがままに受け入れ自分らしく生きることが、子どもの幸せな未来につながるということを保護者の映像とともに紹介いたしました。そして、ストレッチ体操により身体と呼吸と心を整え「まずは自分、それから相手」を考え、「比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に」という内側から美しく生きるヒントとともにマインドフルネス入門を学んでいただきました。

・松原明美先生(当校スクールセラピスト)

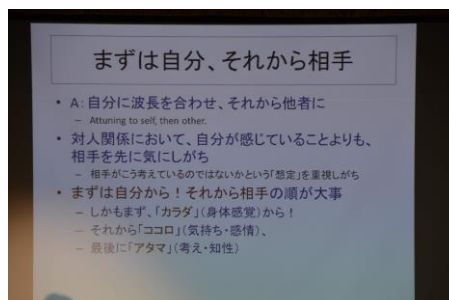
「自分らしさを育むためのマインドフルな子育て」～ママファシリテーター養成講座の実践から～

・中野民夫先生(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

「しなやかなこころを育む マインドフルネス入門」



基調講演の様子



会場内での意見交換・話し合い

【ワークショップ&グループディスカッション～テーマ別分科会】

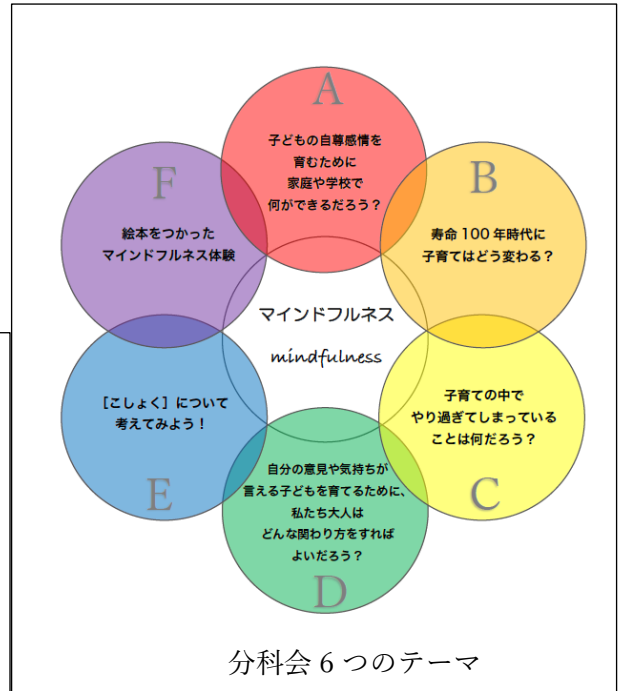
午後のテーマ別分科会では、「子どもの自尊感情を育む」「寿命100年時代の子育て」など6つのテーマのグループに分かれ、ディスカッションを行いました。

そこで大活躍したのが「えんたくん」という、大きな丸い段ボールに模造紙を重ねたコミュニケーションツールです。えんたくんを3～4人で膝の上ののせてマーカーで書き込み、色々な意見を共有しつつ、深い内容の話し合いができました。



えんたくんに書き込む

えんたくんを膝に乗せディスカッション



たとえば、「子育てでやりすぎていること」がテーマの分科会Cでは、8グループで「えんたくん」を囲み、各自がやりすぎた体験談を出し合いました。「忘れ物が多かったが、あきらめて放っておいたらうまくいった」「兄弟で接し方を変えてみたらこうなった」「学校では〇〇だった」など、保護者も教員も新しい発見がありました。終了後、「思いがけない気づきがあった」「初対面でもすぐ打ち解けられた」という声があがりました。



(全体会) 講演者と保護者ファシリテーター



4年生合唱「ゆうきのうた」



閉会宣言では、皆様から温かい拍手をいただきました。

今回、PTA の役員だけでなく多くの会員が事前にファシリテーター養成講座を受講し、分科会の進行役をやり遂げました。また、保護者の同好会からは作品展示で協力いただき、PTA 全体で実践活動協議会を盛り上げました。



同好会作品の展示(書道、生け花)



壁新聞「各附属校園 PTA の広報誌の紹介」



半年以上前から準備をすすめ、前年度と今年度 PTA 役員の約 40 名で取り組みました。

最後になりましたが、お忙しいなか、近畿各地からご参加くださいました皆様にご心より御礼申し上げます。来年度は、大阪教育大学附属天王寺地区様が当番校とされます。どうぞよろしくお願いいたします。